

日立キャピタル(UK)が発行するグリーン・ボンドへの投資について ～電気自動車普及に向けた急速充電施設インフラの構築～

第一フロンティア生命保険株式会社(代表取締役社長:武富 正夫)は、日立キャピタル(UK)社(正式名称:Hitachi Capital(UK) PLC、以下「日立キャピタル(UK)社」)が発行する米ドル建グリーン・ボンド(40百万米ドル、約44億円相当)(以下、「本債券」)への投資を行いましたのでお知らせいたします。

近年、世界的に深刻化する気候変動問題を踏まえ、脱炭素社会の実現、温室効果ガス排出ゼロに向けた動きが広がる中で、英国はガソリン車とディーゼル車の新車販売を2030年までに禁止することを発表し、電気自動車(以下、「EV」)普及に向けた動きが加速しています。本債券による調達資金は、日立キャピタル(UK)社の融資を通じて太陽光発電によるEV用急速充電施設の展開、それに伴うEVの普及、さらに脱炭素経済の構築を資金面からサポートすることに使われます。

当社では「持続可能な開発目標(以下、SDGs)」の達成に向け、以下の主要6テーマにフォーカスし、優先的に取り組んでいます。



この中で、資産運用分野を中心とするテーマとして「ESG取組みの推進」を選定しています。本取組みの一環として今回投資する債券は、サステナビリティクスによる第三者認証を得たグリーン・ボンド・フレームワークに基づいて起債されたものです。本債券は日立キャピタル(UK)社として初めてのグリーン・ボンドであり、第一フロンティア生命が発行額の全額を購入いたしました。

日立キャピタル株式会社のグループ会社である日立キャピタル(UK)社は英国再生可能エネルギー事業者であるGRIDSERVE Sustainable Energy Limitedの親会社でありGRIDSERVE Holdings Limited(以下、グリッドサーブ社)へ2020年12月に投資しました。グリッドサーブ社は同国内にて主に太陽光発電・蓄電設備及びEV用急速充電施設「Electric Forecourt®(以下「エレクトリックフォーコート」)」の開発、建設、運営を行う企業です。グリッドサーブ社は日立キャピタル(UK)社の融資を活用し、2025年までに英国内で100か所以上のエレクトリックフォーコートの開設を予定し、英国のEV向けインフラを整備します。本債券による調達資金は、EVの普及及び再生可能エネルギー事業を通じた気候変動対策への融資に充てられます。

当社は、持続可能な社会の達成に貢献するために、お客さまからお預かりした約8.6兆円(2020年12月末時点)の資金を運用する機関投資家として、責任を持った投資を推進していくことが非常に重要であると考えています。今後も引き続き、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、SDGs債の投資に積極的に取り組んでいきます。

【 EV用急速充電施設 「エレクトリックフォーコート」 】



【本債券の概要】

発行体	日立キャピタル(UK) (S&P 格付け:A-)
発行額	40百万米ドル(約44億円相当)
償還期間	3年

以上